夕刊 滿洲日報 一月二日

# 唐、西北兩軍と結び 蔣氏に對抗の目的
## 閻氏出兵の目的遠大

【上海特電一日發】閻氏の這次の出兵に對しては唐生智氏を討伐すると共に河南、山東にある雜色軍を整理するためであるといひ、隴海、平漢、津浦線等の實權を**掌握する**ためであるとも、支那側にて種々憶測されてゐるが、目下鄭州に傳へられるところによると閻總司令部後衛は必要以上に大規模のものであり、閻氏が近く大原發、鄭州に赴くに際しては重要宣言を發すると共に多數の幕僚大部隊の護衛兵を從へて專ら威儀を整へるべく目下腐心してゐると傳へられて居り、結局閻氏出兵の最後の目的は鄭州以南の京漢線、徐州以北の津浦線並に隴海線、膠濟線等の管理權を掌握するを以て**第一段の**計畫と揚子江以北の雜色軍を整理した後、和戰兩樣の強硬手段を以て蔣介石氏に對抗するといふ遠大なる抱負に基くものであるといはれ閻氏のこの計畫には既に唐生智西北軍等との間に完全なる諒解が成立してゐるといはれてゐる

## 中央政府の狼狽
### 出兵中止を要求せん

【上海特電二日發】過般來態度かを各方面より懸念されながら出兵を肯じなかつた閻錫山氏が最近中央擁護と平和を聲明し、表面唐生智討伐に藉口して河南に向つて**大規模の**出兵を敢てするに至つた目的は全く大なる謎として各方面から注目されてゐるが、南京政府方面にありても最近、閻氏のこの出兵の目的とするところは單に唐生智討伐のためのみではないことに氣づくや大いに狼狽して蔣介石氏は要人等とともに只管之が對策につき協議しつゝあり、一方目下入京中の馬福祥氏を通じて石友三、韓復渠等の**反中央の**態度を緩和せしむることを急ぎ馮氏との間に妥協成り次第直に閻氏に對して河南出兵中止を電請するだらうと

## 勞農軍の引揚開始

【チタ一日發電】露支紛爭も一段落になつたので勞農ロシア極東軍は昨日より續々引揚を開始した、歸還軍隊は途中到る處で熱烈な歡呼を受け住民は厳しい霜をも物ともせず野外大會を催して彼等を歡迎した

## 白國國立銀行 割引歩合引下

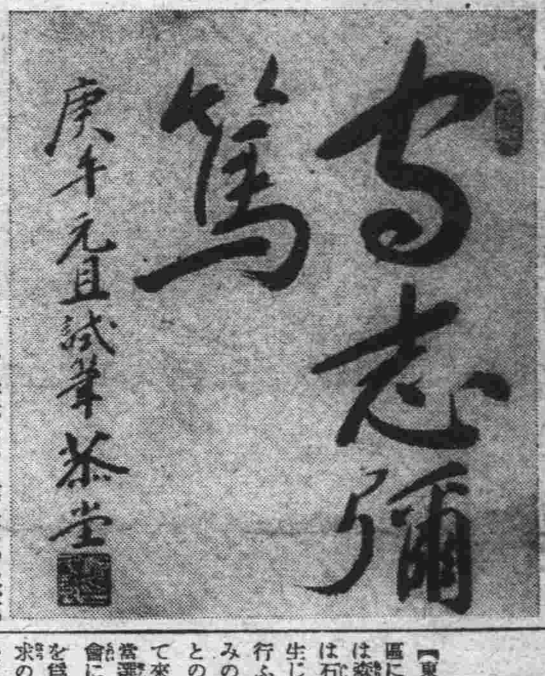
【ブラッセル三十一日發電】ベルギー國立銀行は本日割引歩合を一分引下げ三分五厘と改訂した

## 濱口首相縱橫談
### 大阪の棄權者多數は遺憾 犬養總裁と會見考慮せず

【東京一日發電】暮の三日間を別邸に靜養した濱口首相は三十一日午後四時二十二分鎌倉驛發五時二十五分新橋驛着列車で歸京したが左の如く語つた

大阪第四區の再選擧が棄權率八割二分と云ふ空前の不成績であつたのは歲晚で選擧民が繁忙であつた爲めでもあらうが、何れにしても斯く多數の棄權者を出した事は甚だ遺憾であるから其原因を究明する必要があると思ふ、實業界方面の希望もあり旁々議會休會中首相と犬養政友會總裁との會見が行はれるであらうと取沙汰されてゐると云ふが自分は其樣な風説を耳にした事はない勿論自分としては斯かる流言が生れ出た根據につき些かも思ひ當る端はない從つて今犬養氏から會見を申込まれるやうな場合の諾否に就て何の考慮も必要としない會見の申込みなどある筈がないと信じてゐるが萬一あるとしても實際それに接した上でなければ之をどうするか言ふべき筋合ひでない

土方日銀總裁試筆




## 大阪再選擧 無効訴訟
### 政友會提出せん

【東京二日發電】今回の大阪第四區に於ける再選擧に關し政友會では森田氏の失格を認めず且つ同區は石川氏の辭死に依り缺員二名を生じ居るを以て二名の補缺選擧を行ふべきで內務省が單に森田氏のみの再選擧をなしたるは違法なりとの見地から無關心の態度を採つて來たが、民政黨本田龍市郎氏の當選に對しては何れ休會明けの議會に於て本田氏の資格審査の要求を爲すと共に森田氏の資格審査の要求の休會を求むべく同時に一方に於ては再選擧無効の行政訴訟を起す方針の下に目下專門家に之が手續其他に關し研究せしめてゐる、要するに政友會では本問題に關し休會明迄に萬端の手續を完了する方針であるから今後の成行に就いては相當注目すべきものがあらうと

## 內亂及對露戰の論功行賞を發表
### 閻氏等に勳章を授與

【南京一日發電】元旦の恒例を襲する爲め國民政府は本日附で閻錫山氏以下に左の勳章を授ける旨發表した

授一等寶鼎章 閻錫山
授一等寶鼎章 張學良
授一等寶冠章及青天白日章 何應欽 朱培德 楊樹莊
授一等寶冠章(各通) 張作相 萬福麟 何成濬 劉鎮華 于學忠 陳調元 徐源泉 熊式輝 以下二十八名
授二等寶冠章(各通) 毛炳文 夏斗寅 以下三十一名

以上は何れも內亂及び對露戰爭に對する論功行賞である

## 撫順製油所 完成す

【撫順特電二日發】工費一千萬圓を投じ幾多の苦難を經たる撫順製油工場の國家的大計畫は總て三十日午後全く完成した

## 治廢辦法の商議には應ぜぬ
### 日本の態度は强硬

【北平特電一日發】昨年末に、治外法權撤廢實施に關して國內命令を出した國民政府は來年一月一日を期し聲明をなすが十一月一日から臨時法院の開始を發表する等矛盾多く其實施は困難とみらる、併し各國は夫々對支利害關係に差異あるので一、二の國は是か商議に應ずるであらうと觀られてゐる、然し百萬の在支那人を有する日本は各國に比し利害關係頗る多く各國と步調を合せる事の困難な位置に置かれる爲めに日本は當分此商議に應ぜぬであらう

## 西山財務部長歸任

豫算編成會議に永らく滯京中の西山關東廳財務部長は二日入港のはるびん丸にて歸任した

## 奉天記者北滿視察

【奉天一日發電】奉天青年記者會有志は正月の休みを利用して北滿方面の事情視察に赴くことになり萬鐵卅日夜哈爾賓に向ひ更に吉敦線を踏破し二月五日歸奉の豫定である、猶一行は八名でその氏名左の如し

海上(滿鐵)富田(奉新)宮崎(奉每)石田(奉日)酒家(盛京)小林(奉電)齋藤(撫新)秦本(滿日)

## 對滿政策を研究
### 片瀨で越年した仙石總裁 來る八日頃歸京

【東京特電二日發】仙石滿鐵總裁は片瀨の別莊に越年したが、總裁は同地にて對滿政策の根本方針並びに滿鐵諸問題につき研究を重ね來る七八日頃歸京、濱口首相以下政府要路、民間有力者等と會見し意見を交換する豫定である

海邊巖 宮本柳芳氏畫

# 滿洲貿易と日滿貿易の大勢を顧みて(一)
內務局長 神田純一

昭和五年の新春に迎ふるに當りて我滿洲貿易と日滿貿易の大勢に就き二三の考察を試ますことは必ずしも無益でないと思ふ、全支那貿易の地位は昭和四年の貿易額は未だ正確なる數字を得難いから昭和三年の額に付觀察すると、滿洲の輸出入額は六億一千四百萬兩であつて其の內輸出が三億四千八百萬兩、輸入が二億六千六百萬兩で之を全支那の貿易額に比較すると、輸出入總額は其の二割八分、輸出は二割八分八厘輸入は二割二分三厘の割合になつて居る、假に全支那貿易と滿洲貿易の發達を指數とし人口一人當の貿易額に依り比較すると、戰爭當時を一〇〇とし一昨年の貿易額は滿洲は三八一となり全支那は二三七となつて居る

▽—△

全支那の人口を四億とし滿洲の人口を二千八百萬人と極めて大雜把の概算に依る一人當りの貿易額を比較すると滿洲では三十三圓六錢となり全支那では僅かに八圓二十一錢に過ぎないとゝなる、數字通りの精確さでないにしても又以て滿洲貿易の異常なる發達の大勢を窺知することが出來る、滿洲貿易の大部分は南滿貿易であつて全貿易の八割五分內外を占めて居る滿洲と日本との貿易關係は日本への輸出額は一億六千百萬兩であつて全輸出額の四割六分四厘を占め輸入額は一億一千六百萬兩で全輸入額の四割三分七厘となり、輸出入を合計した日滿の貿易額は二億七千七百萬兩であつて滿洲總貿易額の四割五分二厘を占めて居る、之を支那本土の三割一分、英國の三分三厘、香港の二分八厘、ドイツの一分六厘、米國の四分三厘其の他イタリ、ベルギー、佛國等の各一分以下に比較すると滿洲貿易に於ける日本の地位は何國の追從をも許さない確固たる地步を占めて居る、主なる貿易品の內容と列國との關係は別表の通である以上を要約すると滿洲貿易は全支那貿易に比し近年非常なる發達を爲して居る

▽—△

輸出入のバランスは全支那貿易が過去六十數年間に亙つて殆ど輸入超過であるに反して獨り滿洲貿易は毎年輸出超過を增加し近年に於ては常に輸出超過を續けて居る、滿洲貿易の大半は日滿貿易であつて日本の對滿貿易は對支貿易の四割二分を占め、日本の見地よりして滿洲が經濟的にも極めて重大なることを示して居るのみならず滿洲の見地よりするも日本は貿易上の好箇の御得意であり常に滿洲が輸出超過で滿洲貿易の大半は日滿貿易である、今や日本と滿洲は經濟上離るべからざる緊密なる關係に立つて居るのである。滿洲貿易の近時の驚異なる發達は誰も言ふまでもなく支那各地に於ける比年の戰亂に比して滿洲の地が北邊の地利を得たると、日本の國際的努力との爲めに比較的に滿洲の平和が攪亂せられなかつたが爲めであるのと、過去二十年間に於ける日支人の指導經營の結果に外ならないのである、支那の近代的の發達が滿洲にも黎明を投じたことは爭ふ可くもない、併し乍ら滿洲の異常なる發達は少くとも日本が相當の犧牲を敢めた結果であることは何人も否むことは出來ない、一切の繁榮の前提である滿洲の平和を戰爭の關爭より免れしめたのは日本の存在の爲であつた、近時の滿洲の繁榮、或意味に於ては其の文化の原動力を爲して居る滿洲の特產物を遠隔の荒野から輕中かなる世界の市場に紹介したのも日本商人の力であつた、滿洲港灣の築造色々なる交通の開發精神的物質的文化施設等々過去二十年間に日本の投じた努力と金は恐らく莫大の數計上し難き大きいものであらう

▽—△

斯くして滿洲に於て總ての働く者に富と希望とを與へた、營々として種は蒔かれた、纍々たる果穗は刈る者をして運ぶ者をして其の何事たるを問はず一切の働く者をして富ましめ且つ希望を持たしめた、斯くして彼等の當て經驗なき富と文化が滿洲に創られたのである、乍併一切の文化、一般人の個々の生活にも一切の制度や施設にも今や我文化に多少の因縁を有せぬものはない、滿洲の今日の文化は日支の融合せる文化である、此の力に依り滿洲は日に進み月に將み限りなく繁榮するであらう

▽—△

或は軍閥や政治者流の便宜手段に依りて今後に於ても不愉快なる排日運動が幾度となく繰返さるゝであらうかも知らぬ、併し乍ら事實に於て在滿の日支人は今や經濟的にも文化的にも離るゝことの出來ない結合となつて居るのである、其の結合は素より無意識的のものであるかも知れぬ去り乍ら生存の爲め必要は好むと好まざるとに拘らず斯くなつたのである、恐らく漸次に融合の芽生が必要の糧にも籾々に育てらるゝであらう、斯くの如くにして過去二三十年の間に滿洲は偉大なる發達をした、今後も亦此の結合と協力とに依りて躍りなき發達を爲すであらう、而して何の日にか荒廢たる滿洲の野が支那文化の中心と爲るべき時が來るであらう、滿洲の原始產物は今日既に年額二十億圓と稱せられて居る地は廣くして肥へ人は少くして豐かに六十萬人外內の支那移民は支那唯一のこの平和郷に移住して新なる運命を拓いてゐる、營々として人の力は年々二十萬町を新に拓き五百萬石の新なる生產を增加しつゝある

## 昭和五年正月 大連繪曆
斯文

スケート大流行、誰も彼も出かけるが甚だ寂しい老人連で月夜の晩など大變だ。遂に其筋から七十歲以上の老人で樽式杖を使用しない者は科料に處することゝした。

# 金輸出解禁と在滿邦人の覺悟
## 內輪喧嘩をやめよ
三井物產大連支店長 石田禮助氏談

永い間の問題であつた金輸出解禁は現內閣によりて遂に斷行せらるゝに至つた、この解禁斷行が果して成功なりや否やは今後の推移に見ねば解らぬ事であるが併し既に斷行と決定せられたからには之をして大成せしむる樣に一致協力するのが吾々日本國民としての義務で今更解禁の可否等を論議すべき場合で無い、そんな時間があつたら宜しく金解禁をして**成功のもの**たらしむべき樣に努力する事に頭を向けるべきである、それでは解禁の成功とは何であるかと云へば日本の金本位制度の確固たる存續で失敗とは金本位制度の破壞即ち金輸出禁止で日本銀行兌換券が奉天票と同じ樣に不換紙幣になる事である、而して吾同胞中には日本銀行兌換券が奉天票と同じ運命に陷る事を望む者があらうか、特に奉天票暴落に因る慘たる經濟的影響を目前に見せつけられて居る在滿同胞としては萬難を排して是非金本位制の維持が出來る樣に努力せねばならぬと云ふ決心があるものと信ずる、唯此努力は挪々容易でない一年や二年で目的を遂し得るものでない實に**未來永久に**亘つて奮鬪せねばならぬ問題である、然も國土小さく自然の富源に乏しく一方人口は年々多大の增大を示す我帝國としては遂に悲慘な苦鬪たるを免れない、日本の人口は朝鮮臺灣を入れると一ヶ年先づ百五十萬人は殖えて行く、一人に付き百五十圓の食料にかゝるとしても每年二億二千五百萬圓の增收を必要とする況んや人口の增殖は一年限りでなく毎年の事である、從つて此人口食糧問題の解決は日本帝國として並大抵の事ではない、それでは之れに對してどうすればよいかと云ふに結局各人が其働ける仕事に向つて余心全力を盡してウンと働くにある、特に母國を離れて滿洲に在る同胞としてはお互協力し不必要な競爭は出來る丈け之を避けて外的に一致奮鬪するに在る、元來我々日本人は**經濟的活動**に於ては其戰鬪力に於て他國人に較べて決して優るとも劣る事は無いと信じて居る、既に然る上は問題は主として各人の努力如何である、翻つて觀るに今や我大連では滿鐵消費組合對小賣商聯盟やら市長逐ひ出問題やら內輪同志の事件が續々多い事である、素より理由ある鬪爭は飽く迄やつて見るのもよいが唯其內輪喧嘩をやつて居る間にも共通の大敵があると云ふ事を忘れてはならぬ、それは何であるか日く帝國の一體としての經濟戰即ち上に述べた金本位制維持である、而して此經濟戰の勝敗は懸つて同胞個々の努力如何に在ると云ふ事を茲に强調するものである。

## 櫻內理事長 二日便船で來連

新任五品理事長民政黨代議士櫻內辰郎氏は二日入港のはるびん丸にて來連したが氏は一週間滯在の豫定で議會中で多忙だから直ぐ歸る、取引所問題と聞かれても新任で全く勝手が判らず何れ皆さんに詳しく事情を聞いて具體策を決めると早々出迎へ人と共に遼東ホテルに向つた

### 人事

▲小池國英氏(陸軍野戰重砲兵學校教官步兵少佐)同上
▲石本憲治氏(滿鐵情報課長)二日出帆の[illegible]丸にて上海へ

### 大觀小觀

多事多端なるべき昭和五年ではあるが、また多祥多瑞の、のんびりとした元旦であつた。
◇
二日は少し寒い。併し、初荷の積み出しは昔ながらに勇ましい。
◇
出入千艘の大連港、その繁昌や奧地の開發と共に、この新年に規模達成すべきである。
◇
滿洲の沃野は馬を馳驅するによく、干支は午歲の雄々しきを具象す。
◇
しかも馬の性や、實に溫順にして平和を表象するといふべく、經濟的、文化的開發の期して待つべきものあり。
◇
今年こそは、この若駒の駿々乎たる意氣を以て、龍頭蛇尾に終ることなく、昭和維新の建設に努力すべきである。
◇
伯樂が相す千里の馬の奮ひ

### 天氣豫報

三日北の風(晴一時曇)

各地の溫度

| | 十一時 | 昨日最低 |
|---|---|---|
| 大連 零下 | 一一、二 | 二、三 |
| 旅順同 | 一〇、六 | 二、五 |
| 營口同 | 一九、〇 | 一四、二 |
| 奉天同 | 一六、一 | 一五、六 |
| 長春同 | 一八、八 | 二三、三 |

謹賀新年
建築材料卸商
火災生命保險
田崎建材合資會社
大連市若狹町二丁目四七
電話四七一九番
振替大連二一〇番
電略(タ)又(タサキ)

新登錄商標 新撰 都菊
1.800cc(一升)¥5.00

廣告
黑石礁莊公館より弊店に對する自動車賃金未拂の件に就き曩に貴紙に支拂不能云々と登載せられたるも該件は物品紛失のことより双方些細なる意思の行違ひを生じ今日迄延引致居候處今回双方示談圓滿に解決客臘三十日金壹百五拾九圓四拾參錢也正に受領候に付此段廣告候也
昭和四年十二月二十九日
平安タクシイー

喪中に付年末年賀缺禮
阿部眞言

第四回決算報告
貸借對照表(昭和四年下半期)

| | 圓 |
|---|---|
| 株金 | 三、〇〇〇、〇〇〇・〇〇 |
| 未拂及預り金 | 四一、一四四・四九 |
| 支拂手形 | 六六九、四五八・一九 |
| 未決濟假勘定 | 二九、四七九・四一 |
| 貸方計 | 三、七八〇、〇八三・〇八 |
| 未拂込株金 | 一、五〇〇、〇〇〇・〇〇 |
| 土地建物機械什器 | 一、八四〇、四八七・六六 |
| 原棉製絲仕掛物 | 一九三、三三七・〇三 |
| 假出金未收入金 | 六、〇三〇・七一 |
| 工場及寄宿舍用品 | 一七、三〇一・六七 |
| 銀行預金現金 | 一九、三三六・七八 |
| 大期繰越損失金 | 二〇四、七一八・三三 |
| 借方計 | 三、七八〇、〇八三・〇八 |

關東州周水子會家屯
滿洲福紡株式會社

謹賀新年
建築請負業 森組
大連市能登町四四番地
森谷竹二郎
電話六二六七番

習字速成
どうすればスグ字が上手に書けるか
これは本會の速成法によつて書の法則を會得すればワケなく出來る。小野鵞山先生の講義と、愛石・鷺宮二先生の手本と、小野鐘山・三原愛山・上田錦谷三先生の指導等、他に類例なき新案速成法の秘訣を盡し、通信教授法として最も完備せるものである。
無代進呈 ハガキで申込次第會則附內容見本無代進呈す
東京市本鄉帝大正門前(電話小石川二〇一〇)
帝國習字速成學會

正月二日より六日まで
三井の初賣
商戰の開幕
福袋大賣出
五円袋・十円袋・十五円袋
歲旬のトップを切る
新春柄大陳列會
商戰の開幕を祝ふ為めに!
全商品正札より二割引
大特價品豐富
大連 三井呉服店

諸印刷及製本材料販賣
大阪市南區瓦屋町二番丁一二
印刷業 山田文化堂
主任 山田條二郎
電話南一五二一番

清酒 澤亀
日本各地名產・珍物・
世界各國酒類・食料品
謹賀新年
舊臘中は厚き御愛顧を賜はり難有く御禮申上候尙本年も不相變御引立之程偏に奉願上候
(午勝手三日迄休ませて頂きます)
大山通 宅の店
電話代表 五一九九

# 陽麗かに氷雪も解け 近年稀な暖いお正月
## 賀客場外に溢るゝ新年互禮會
## 瑞氣漲る大連の元旦

大連の新年互禮會 彌生高女講堂にて

昭和の年を重ねること五たび、きのふの元旦は一陽來復の日ざし麗かに溯れて近年稀に見る暖かさ、からりと晴れ渡つて風もないので名刺交換所たる彌生高等女學校へと赴くもの引きもきらず茲許全市の官民有志を網羅して無慮一千五百名と算せられた、式は十一時半着席の合圖に初まりさしもの大講堂を埋め盡して先づ石本市長より新年の挨拶あり、次で嚴かに君ケ代を千代八千代に合唱したるのち、田中民政署長の發聲にて天皇陛下の萬歳を三唱して場の內外を搖がしたそのまゝ直に立食の賀宴を開きするめに冷酒を酌んで壽き各自交換會名簿を手にして漸次退席した

### 旅順の互禮會 昭和園にて

旅順市の昭和五年新年互禮會は一日正午を期し恒例に依り昭和園に於て擧行、參會者は太田長官、畑軍司令官、厚東要塞司令官以下文武官、日支市民有志二千四百餘名に及び、一同着席の後永山市長司會者を代表して年頭の辭を述べ一同國歌合唱、次いで市長の音頭にて杯を擧げ天皇皇后兩陛下の萬歳を三唱、スルメ、蜜柑の酒肴にて宴に移り「お芽出度う」を交し合つて大盛會裡に零時卅分閉會した

# 晴やかに輝く帝都の新年
## 宮城前や明治神宮に 聖壽萬歲を祈る民草

【東京一日發電】卅一日の雨は昭和五年の除夜の鐘を聞く頃から全く晴れて快き晴天となつた、例年の事ながら明治神宮に初詣りの市民は除夜の鐘鳴り始める頃から三々五々と參道に續き、淨砂にきよめられた內苑の篝火に照されて一入神々しさを添へた、中に拍手の音朗かに響いて春は先づ神域に立ち初め夥多參詣者の群は增して午前六時迄に十五萬と數へられた、又宮城二重橋前は、聖壽の萬歳を祝る市民の群に埋められ特に帝都復興の喜びの歳を迎へた事とて歡激の色が其の面上にあふれてゐるのが窺はれた、大內山の常盤の松に旭光が輝く頃より大禮服美々しく參賀の文武官或は自動車、或は徒歩に繪の様な列が續き皇國日本の昭和第五年は晴れやかに輝く元旦の壽の喜びに飾られた

### 波穩かな海上の新年 二日初入港はるびん丸

初入港の內地定期船はるびん丸は門司荷役の都合上一日繰上げ二日午前八時四十五分入港したが、乘客は西山財務部長、櫻內新任五品理事長外一等船客十一名、二等十六名、三等六十一名で波穩かな海上の新年を迎へたが、二十一番ブイスに繫留し寺田船長、解良事務長及び目下碇泊中のバイカル丸原田船長、浦郷事務長、會社船舶係員も集まり船中に於いて屠蘇を祝した

# 夥しい南下貨物で目が廻る埠頭現場
## 旗押したてゝ各街を練り廻る景氣よき初荷の車

緊縮時代の新年とは言ふものゝ正月二日の市內各商店街は早朝から初荷の積出しに忙しいのは例年に變りはない、浪速町から伊勢町、大山通にかけては華々しく商店旗をかゝげた荷車や貨物自動車が繰出され、新春の各街を景氣よく練廻り、地方に發送される初荷は滿二埠頭に景氣よく運ばれたが、本年の情況を埠頭の發送係にきいて見る

市中側の雜貨類の初荷は例年と變りはないが今年は特產物南下の激增で埠頭は目のまわる程の忙がしさです一日到着の特產が五百七十四車、石炭二百一車、合計七百七十五車で二日船積準備の繰替が百車、二日は午前十一時現在で到着の特產四百十九車石炭百五十四車、合計五百七十三車であるが、夕方までは約一千車に達する見込み、二日午前十一時までの入港船は八隻出港が七隻沖泊船が二十四隻といふ盛況で埠頭の現場作業方面では一日から引續き主任以下總出動で大童で働いてゐます

と埠頭方面は折柄の快晴に惠まれて新春匆々から大多忙である

初荷

# 意義ある新年
## 滿鐵拜賀式の盛況

滿鐵本社の新年拜賀式は一日午前十時より階上會議室に於て開かれた、參集せる社員は大平副總裁を初め大藏、小日山兩理事、各部、課長等約六百名に上り定刻大平副總裁は起ちて

昭和四年を回顧すれば滿洲は實に內外共多事多端であつたが、幸ひにして茲に目出度く昭和第五の新春を迎へることの出來たことは誠に御同慶の至りである、滿鐵も明けて愈々廿四歳の春を迎へた譯であるが、社運彌々隆盛にして就中最も吾等社員の悦びに堪へないことは仙石總裁の御病氣が全く癒へて頗る元氣で着任以來僅かに二ケ月程の短時日の間に滿鐵の業務、滿蒙事情等に精通せられて今や滿蒙經營の經綸を提げて東上、その實現のために要路と懇談せられつゝあることで、吾等はやがて總裁御歸任の上は社務の上に着々その抱負が實現具體化を見るものとして大なる期待を以て

**諸君と共に**

此意義ある新春を慶祝する次第であるが、同時に本年は全社員

**捲土重來**

の意氣を以て社務の遂行に彌々精勵協力せられんことを希望して年頭の御挨拶とする

との意味の挨拶を述べ全員起立して副總裁の發聲にて天皇、皇后並に皇太后陛下の萬歳を三唱して一同乾杯、續いて大藏理事の發聲にて滿鐵の萬歳を三唱し、次に小日山理事は「滿鐵現業員諸君の勞苦を多とする」意味に於て特に現業員萬歳の音頭をとり終つて一同和氣靄々裡新春を壽いだが、此間保々地方部長、依多調查課長、貝瀬技術委員長等交々起つて大に年頭所感や抱負を披瀝する所あり、十時四十五分閉式一同退散し、賀詞交換會々場たる滿洲館に赴いた

# 二萬人に上る參拜者の群
## 元旦大連神社の賑ひ

年改まりて人の心も新に、何は兎もあれ神詣でを爲すべく大晦日の午後十一時頃より大連神社へ志すもの跡を絶たず、明けて初日の光和かにぽかぽかと照る小春日和は氣が上にも人出を誘ひ午後八時頃まで參拜する者

**長蛇の列を**

爲して二萬人を越したと謂はれ、拜殿や階前に額づいて皇室の御繁榮、家運の長久一家の無病息災を祈念するもの引きもきらず、神々しいものであつた、神社では午前四時宮中にて四方拜を執り行はせられる時刻に歲旦祭を行ひ、修祓、降神、獻饌、祝詞奏上、玉串捧奠等次を以て進められ官民有志が參列した、同午前十時よりは月並祭が執行された、沙河口神社に於ても些の如く儀式あり、參拜者も亦絡繹として續いた、大連神社の元旦のお賽錢を開けば

**約千五百圓**

あつた由、二日の參拜者は寒氣に阻まれたが昨年同様相當に多く、三日は元始祭である

# 支那民衆面喰ふ
## 徹底的陰曆廢止の國民政府の命令に

【天津一日發電】何でもかでも新らしがりで實行不可能とは明かに見えても思ひ切り向ふ見ずにやつてのける南京政府は、陽曆勵行を唱へてゐたが更に民國十九年元旦から徹底的陰曆廢止の布告が出で數千年來の凡ゆる恒例も慣習も根こそぎ打破せん勢ひで、一切の暦に陰曆の記入を許さない事となり從つて如何にテンポの早い世とは言へ民衆はすつかり面喰らひ日本人會社、商店の廣告用カレンダーは支那人間で奪ひ合ひの形となり三五十仙內至一弗で賣買される奇現象を呈してゐる

### 賀表を捧呈

關東廳、關東軍司令部では一日午前九時半それぞれ太田長官、畑軍司令官、外高等官一同連名にて兩陛下に謹み奉り年賀の加表を捧呈し尙判任官下士以下の參賀を受けた尙十時より兩會議室に於て拜賀式を擧行勅語奉讀御眞影拜賀を行つた

### 滿洲館の賀宴

滿鐵大平副總裁、大藏、小日山兩理事等は一日正午より滿洲館に於て社員並に一般市民の年賀の挨拶を受けたが官、軍界及び市內一般の年賀客陸續として詰かけ、多數社員等と共に屠蘇を酌んで新年を祝し合つた

### 沿線の元旦

**哈爾賓**【ハルビン特電一日發】新春を迎へたハルビンの元旦は東支問題の和平解決に活氣あり陽光爛として雪に映え春風の漂ふをみる、約三千數百名の邦人は昭和五年の光輝ある歷史を迎へるために戶毎に國旗を揭揚し公會堂にては新年互禮會の參加者五百數十名が九時から一堂に會して八木總領事の發聲で天皇皇后陛下の萬歳を三唱し傳宴美妓の斡旋で乾杯し十時散會、十一時からは總領事官邸に於ける御眞影の拜賀式に參列し和氣靄々裡に記念ある新春を祝福した、尙小學校、日露協會等の各學校公共機關にては同樣遙拜式を擧行した

**金州**【金州特電一日發】朝來より惠まれた好天は昭和五年の新春を迎へるに充分である、各戶に飜へる國旗、門松に元旦氣分は充溢して山川草木も皆新なるのゝ感がある、午前十時に民政支署に於て一般の參賀を受けた十時半より小學校に於て御眞影の拜賀式、引續き同十一時半より同講堂にて恒例に依る互禮會が開かれた、集まる者三百名、着席するや平井民政支署總務課長は起ちて一場の挨拶を爲し續いて聖壽の萬歳を三唱一同歡を盡して正午散會したが、流石は緊縮時代である回禮者の數も少ない、各々家に引籠つて歌留多や麻雀遊びに餘念がない此れが昭和五年元旦の氣分

**熊岳城**【熊岳城特電一日發】當地に於ける元旦は道路の氷も解け初めてぬかるみに歩行困難をさへ感ぜらるゝ程の暖かさで極めて平穩、既報の如く教化聯盟の趣旨よく徹底して午前十時小學校に於ける四方拜の拜賀式には殆ど全居住民の各戶主參列しいと莊嚴な式の中に一同御眞影を拜賀し、終つて直ちに熊岳城神社に額づきその儘互禮會場たる滿鐵クラブに入つた、參會者中國人共百三十五名、定刻渡邊試驗場長の挨拶あり互に祝盃をくみ交し和氣靄々裡に太田局長の音頭にて聖壽の萬歳を奉唱し正午近く散會した

# 「行」の哲學に徹底
國際運輸專務 平田驥一郎

私は曾て山室軍平さんの話をきいて大變心を打たれた事がある。氏の信念、氏の生活が、人のこれを好むと好まざるとは別として、愈敬に價するものであることは誰しも否むものはないであらう。

私が山室さんの話をきいたのは滿鐵のもとの食堂であつたと思ふ舊い記憶であるが、私はその時の山室さんの風貌を今に心に想ひ浮べることができる。

×

山室さんの話は大體、次のやうなことであつた——

自分は伯耆の國大山の山奥の或る水呑百姓の家に生れたもので、赤貧の辛苦は生れた日から影のやうに自分の行路にまつわつて離れることがなかつた。

しかし、私はこの苦い人生の行路の間に、常に一つの光が絶えず私を導き力づけ、溫めてくれて今日に及んだことを感謝せずにはゐられない。その一つの光とは「母の愛」であつた。自分の母は紙の上の學問には極めて乏しい素養しか持たなかつたが、人としての修養には、その愛と忍苦の生活を通して子たる私の上に常に力強く働きかけてゐた。私の今日あるは、まことに其大半をこの母に負ふのである●母の不斷の激勵は私の人生の進路を平坦にし、その絶えざる訓育は私の信念を培つてくれた

私をして言はしむれば、私の母の如きこそ「行」の哲學に徹底し得た女性であつた。

この母が私の爲に、不斷に說へ且つ祈られた一つの教訓があつた。それは「人様に迷惑をかけぬ人となれ」といふ一條であつた。貧しい私の生家では最上の御馳走と云へば鷄卵で、母もそれが大の好物であつたが、母は此の愛子の上に寄せた一條の願望の實現を祈つて自らその鷄卵を口にするのを終生斷つことを神の前に誓はれたのであつた。

この母の教訓に從つて、私は寸刻も「人に迷惑をかけぬ人にならう」といふ信念を心から離すことなく、今日まで來たのであると。

×

私は此の山室さんの話を聞きながら、そして聞く人によつては極めて平凡な言葉に過ぎないであらう「人に迷惑をかけぬ人にならう」といふ一語を聞いたときに、非常な感激を覺えたのである。それは、私が日頃抱懷してゐた自分の生活態度に對する指導精神が更に嚴く言つて私の人生觀がよく此一語の中に要約され表現されてゐるからであつた。

私は、今日もなほこの平凡なる一語を信條として進む所に、眞に心の充ち足りた、朗かな生活がひらけることを確信してゐるものである。

未だ到らざるところのみ多き私は「行ひ」必ずしも「心」と一致するの境に達してゐるとは言ひ得ないが、私はこの信條に對して日々反省し、この所願の到達を庶幾するものである。

# 漂泊の旅
## 敗殘の身を喞つ日本人

三十一日朝龍口から大連に入港した高松丸に一人のみすぼらしい姿の日本人が乘船してゐた、同人は龍口から歸つて來たもので

**彼の半生**

には次の樣な物語がある

太田正雄(假名四四)は香川縣に生れ神主をした身分であり、相當の資産もあつたが、若いころ病氣にかゝり殆ど日本內地の各溫泉を廻つて療養し十數年かゝつて病は漸く全快したものゝその時には家產も殘り少なとなり遂に妻を離別し母を親戚にあづけて家財を整理して約千八百圓の金を懷中にして大望を抱いて昭和三年十月に來滿

大連を振出しに奉天、安東等とあちこちを廻つて見たが、何處も支那商人が喰込んで居て適當な職業を見出す事が出來ず、再び大連に歸つて來たが其の中に所持金も使ひ果し、故鄕からも二度計り送金されたが

**依然職も**

なく、飯にもならないので四年十二月廿五日今度は龍口に仕事を見つけて行つた、然し彼の豫想に反し日本人が少なく又もや直ちに大連に引き返して來たものである、同人は內地も大連以上の不景氣ですし親戚等も相當の生活をしてゐますが今更ら世話にもなりたくなし、一時社會館にでも厄介になつて適當な職を見付けたいと語りながら大晦日の町をぼとぼと歩いて行つた

汽車汽船で御旅行の事は
何でも御利用下さい
ジャパンツーリストビューロー
大連案內所

### 洋畫展覽會

旅順師範學堂川口四郎、旅順第一中學校飛岡文一の兩氏は來る五、六、七の三日間市內敷島町青年會館に於て最近作品約百點を陳列洋畫展覽會を開くと

### 出船入船

目下碇泊中のばいかる丸は荷役の都合上一日繰延べ三日午前十時出帆する、尙二日入港のはるびん丸は五日出帆の豫定


# 賀正

**大連著名商店**

舊年中は格別の御引立を蒙り難有御禮申上候
玆に年新まり一層研究努力御眷顧に酬ゆることを期し
居候間不相變御用命御引立の程奉願候
大連市浪速町伊勢町角
**光葉寫眞館**
田尻光葉
電話五九八二番

新年御芽出度ふ存じます
舊年中は格別の御引立を賜り難有厚く御禮申上ます
尙本年は更に『良品廉價』をモットーとし皆様の御仕入係として奉仕致しますから何卒舊に倍し御愛顧の程伏して御願ひ申上ます
大連市浪速町三丁目(浪速館隣)
**營口近江洋行**
電話六六七三番

舊年中は格別の御引立に預り厚く御禮申上ます
新年を迎へますと共に猶一層歐米各國の化粧品類豐富に取揃へ御眷顧に酬ゆべくどうか此上とも御引立の程御願申上ます
化粧品直輸入商
大連市伊勢町二一番地
**高新洋行**
電話八二五九番
獨逸モーソン會社謹製のベルケンワーサトの特約一手販賣を引受て居ります何卒御用命の程を

舊年中は格別の御引立に預り厚く御禮を申上ます
就きましては業務擴張の爲め連鎖商店街に本店を移し伊勢町本店跡を分店とし兩店內共商品豐富に取揃へ廉價大勉强致すべく何卒倍舊の御愛顧偏に御願ひ申上ます
高級洋服 婦人コート 男女兒オーバ 男女兒洋服 各女兒制服
大連連鎖商店街京橋通(活動館前角)
**詫摩洋服店**
電話八一三〇番
大連市伊勢町三二
**詫摩洋服店**分店
電話五〇八三番

舊年中は格別の御引立に預り難有御禮申上ます
尙本年も不相變御眷顧御引立の程御願申上ます
毛布、毛糸、毛皮類、鞄、帽子直輸入
大連市浪速町三丁目
**一ノ瀨商會**
電話(四四〇五番 七三二〇番)
振替口座大連二八九番

舊年中は格別の御引立を蒙り厚く御禮を申上ます
尙本年も不相變御愛顧の程御願申上ます
大連市浪速町
**伊藤呉服店**
電話代表番號六一〇七番
振替大連二八五番

# 賀正

[illegible]

[illegible]

平山敬三

[illegible]

谷川善次郎

栗原廣太

[illegible]

後藤一郎

[illegible]

歐洲旅行中に付
年賀缺禮仕候

昭和五年正月

小田久太郎

原色版製版印刷の御用は是非弊社へ御願申します

株式會社 日本美術寫眞印刷所

東京市赤坂區田町一丁目十五番地
電話 青山四五〇四番
振替口座 東京四九一五七番

寫眞用
銅版亞鉛
地板商

臼井半太郎

東京市神田區豐島町六

純質最上の

各地印刷所に有り星名刺と御指定を乞ふ

製造元

櫻井商店

東京馬喰町二

## 撫順炭

一手販賣

本店　東京市麴町區丸ノ內二丁目二番地
若松出張員　福岡縣若松市濱三番町二丁目
清水出張員　清水市入江受新田百三十二番地
名古屋支店　名古屋市中區新柳町六丁目三番地

撫順炭販賣株式會社

大阪支店　大阪市東區北安土町二丁目五十六番地
大連支店　大連市山縣通十八番地
伏木出張所　富山縣射水郡伏木町古國府九十四番地

## 鞍山銑鐵

特約販賣

## 製造品目

—孔雀印—

新聞印刷インキ
石版印刷インキ
オフセットインキ
コロタイプインキ
活版印刷インキ
三色版印刷インキ
寫眞版印刷インキ
謄寫版印刷インキ

登錄商標

諸星千代吉商店

橫濱市中區久保町一二一六番地
電話長者町③〇三三七・一二八五番

東京支店　東京市京橋區本材木町河岸
大阪支店　大阪市南區鍛冶屋町
名古屋支店　名古屋市東區大津町五丁目
上海支店　上海崑山路〇A十一號
橫濱工場　橫濱市中區久保町一二一七
保土ケ谷工場　橫濱保土ケ谷區保土ケ谷町

# 平安異香（214）

葉多默太郎作　一彌畫

**奔流（二三）**

六波羅の、平家の宗家清盛の本邸である。

淨海入道清盛は、二三日前からこゝに滯ほつてゐるといふことだつた。京都でゐると、關のあたりまで源氏の軍勢が押寄せてゐるやうな氣がして落着かず、あたふたと兵庫の福原へ引籠るのだが、福原にゐるとまた京都が氣になつて四五日の辛抱も出來ずに京都へ歸る——といつたやうな有樣で、京都と福原の間を往來してばかりゐるといふことだつた。これも、女間者の相模から聞いた話——

裏の小門から忍びやかに入り、暫の間で少時待たされて、それから奥へ導かれた。

相模の手燭に足下を照らされながら行くと、清盛が太政大臣在職當時に、朝廷から賜じたといふ猛虎が、闇の中に長くなつてゐた。金彩の扉形に、物いふ鳥の鸚鵡が眠つてゐた。翼を立てたやうな珍奇な置物があつた。

やがて藤原時代の燈籠を內へ入ると玉砂利と石ばかりの前栽で、行手に突ち出でになつた一棟への御殿が雪洞しの灯影に、丹塗の高欄を夢のやうにぼかして立つてゐる。

「御殿の簀の子で左衛門樣が會ふと仰しやつておゐでになります」

搜身の老侍が、簀の子に出て端坐して居た。それが清盛の執事結城左衛門宗親だつた。白髮童眼、いかにも好々爺らしい風貌だが、一世の軍師、陰謀家だといふ評判だつた。

挨拶をして顏をあげると、鹽西五枚襲に、朱漆を塗つた膳が垂れてゐて、その膳に、牛を思はせるやうな大きな影がうごめいてゐた。はつと源八郎は膝を簀の子にすつけた。

すると左衛門がいつた。

「相模から聞いたらうと思ふが、そちに一腰入れて貰ひたいことがある。もそつと此方へ寄つてくれ」

奥を氣にしてはならぬ、知らぬふりでゐよ——といふ口吻である。一介の捕吏が前太政大臣清盛公に咫尺するといふことは許されないのが本當だ。

源八郎は頭をあげて左衛門に對座した。

話の要點は、近頃勸修寺師輔の態度に、腑に落ちぬ節があるので、その點に特に注意するやうに相模にいひつけたが、女のことで、香ひを嗅いで來る以上のことは出來ない。で、師輔の身邊に手を入れて、白なら白、黒なら黒、安心の出來るやうな確證を摑んでくれといふのだつた。

源八郎は承知した。今夜のそのために勸修寺邸へ忍ばうとしてゐた源八郎だ。

「さうか、それで安心した。なにしろ相手が相手だから、どういふかと思ふてゐた——それはさうと大悲山の詮議は捗どつてゐるかな」

「隱れ家を二三ヶ所つきとめましたが、まだ二三ヶ所ありさうなので、只今搜索中でござります。近く一網に檢擧いたす手筈になつてをります」

話しなかばに、ふツと源八郎が瞳をあげて、相模の肩越しに背後の一點を凝視した。

相模が振返つてみると、中庭を隔てた向ふの渡殿を、手燭をさゝげて行く一人の女中があつた。

「どうかなさいましたか?」

相模がきくと、

「あの女中は、以前からお抱への者ですか」

と源八郎はきゝ返す。

「如何ですか——私はずつと東山へ參つてをりますので——御存じの者ですか」

「夢之助の部下に、秀といふ女丈夫がゐるが、大變よく似てゐる」

いひながら、源八郎はその女中のすることをぢつと見てゐるのだつた。

## 映畫と演藝

### 景氣のよい初春興行
#### 元旦の賑ひ

元旦を期して一齊に初日の蓋を開いた大連の各興行物は晴やかな好天氣に惠まれて各方面とも客足よく大入滿員札が景氣を添えた初春興行の第一日であつた、先づ映畫街は大日活帝國館演藝館浪速館が晝夜三回興行に出で第一回を午前十時過ぎより始め午後二時頃第二回と順調に計畫通り夜間午後六時より三回興行をなし大連映畫街に新記録を作つた、その他の館も午後の晝間興行より賑々しく開館し大日活はトーキーの「四枚の羽根」と「謎の人形師」の大河內伏見で人氣を呼び帝國館は傳明の「山の凱歌」と長二郎の「地に逆く者」を呼び物に演藝館は「戀のジャズ」と「嵐山花五郎」を中心に浪速館は階下四十錢の入場料と「キートンの西部成金」で大衆に呼かけ新裝成れる常盤座は東亞の齋藤達郎と駒子の「貝殼一平」を封切じ競はずも新館の河合映畫「貝殼一平」と競映の形となり初春の映畫界は素晴らしい活氣を呈してゐる、また大連劇場は浪曲界の新人酒井雲一行の文藝浪曲で初日早々から好評を博して盛況、歌舞伎座は田宮米峰秋月源之助一派の喜劇喜樂會で初日の蓋を開け初春の笑ひ初めに人氣を呼び何れも流石に正月らしい景氣を見せた

**すきま**

あけましてお芽出度う、午歳のやうに景氣よく噂もはずんで今年も賑やかなことでせう▲さてお正月はそれだけの有難さがあつて各興行物とも大入滿員▲映畫館では撮りの筆頭は大日活頭數では浪速館だらうとの觀測▲去年の正月に浪速館の三回興行を笑つたのを忘れたやうな顏をして今年は三回興行が巾をきかす▲これも御時世だらうが、安い方から一杯になるかと思へば大日活は特等が先に賣切れ▲「四枚の羽根」でディスク式のサウンド、ピクチュアが先づ御目見得▲帝國館はいよ〳〵元旦から直流で映寫してゐるが、是恒氏はこれでシンプレックスだつたらと贅澤がる


**蒲鉾**（手切品商）
西村商店
西通一〇二番地　電四九三五番
沿滿町市場廿九號　電四六三五番

**第九回 伊勢參拜團募集**　締切一月五日

◎團員の經費　金八拾八圓（御申込と同時に全額拂込の事）
◎出發の期日　昭和五年一月八日（うらる丸にて）
●內地で自由解散が出來ます（有効九十日間の神戸—大連間乘船券を差上げます）

**お正月を利用して御歸省の御勸め**

巡回個所（下ノ關、宮島、嚴島、高松、屋島山、琴平神社、岡山、伏見稻荷、桃山御陵、京都各所、奈良、伊勢大廟參拜、日光、成田不動、東京各所、大阪其他）

◎汽車汽船電車自動車拜觀料宿屋茶代ポチ等一切不要

主催　崇敬會　大連市吉野町七十一番地　電話七九四七番　振替大連一七五八番

申込所

| | | |
|---|---|---|
| 信濃町 | 池內豐文堂 | 電七七三二番 |
| 信濃町 | 鐵西旅館 | 電四四八二番 |
| 伊勢町 | 內山光明寫眞館 | 電四六六四番 |
| 柳町 | 門屋庫太郎 | 電三九六六番 |
| 浪速町 | 濱山呉服店 | 電五二三五番 |
| 若狹町 | 近藤指物店 | 電八六一六番 |
| 浪速町 | 中島鉞力店 | 電五三五七番 |
| 大石橋 | 白川洋行 | 電話一八番 |
| 遼陽 | 玉家 | 電話五七番 |
| 撫順 | 濱榮館 | 電話六四番 |
| 奉天 | 寺尾呉服店 | 電二〇三九番 |
| 奉天 | 武藏屋旅館 | 電二三七五番 |
| 鐵嶺 | 中瀬呉服店 | 電話一〇四番 |
| 安東 | 德光家具店 | 電話三二六番 |
| 長春 | 吉田屋旅館 | 電話九四七番 |

寫眞製版用材料並諸藥品
同機械スクリーン
亞鉛凸版用材料並諸藥品
コロタイプ用藥品並材料
大阪市東區南農人町二丁目
上田製版材料部
電話東六七一五番　振替口座大阪六二六二六番
上田コルナオン發賣元
菊池グルー特約店

眞鍮看板調製
ネームプレート製
大連市浪速町十七
沖本ブリキ店
電話六二六一番

特殊流経剤
**月經 強經球**

本劑は月經の休止四五ヶ月以內には僅かの服用にて害なく迅速確實に不通の月經時の如く見事に通經の目的を達す
並製一瓶　三十五錢　特製一瓶　五十錢
頑固用　拾圓
發賣元　東京四谷信濃町停留場前　森田屋本店
代理店　大連山縣通一丁目　順和公司

**印刷の御用命は滿日印刷所へ**
電　四三二一　四〇四八　四〇四九

フランク・ボーザージ氏監督
**街の天使**
主演　ジャネット・ゲーナー孃　チャールス・ファーレル氏
四日より公開
演藝館

品質本位
**花王石鹸**（カオーセッケン）
本年の標語　花王美は健康美

# 今年こそは

おめでたうございます
創業第四十一年の今年こそは
張りきつた實力の栓をぬいて
科學の一九三〇年へ
その良品の大衆化へ
驀進いたします！